

## 養老公園夜桜ライトアップ点灯式

3月30日(土)、養老公園夜桜ライトアップ点灯式が養老公園時計台前で行われ、町の観光・広報大使である敦士さんや関係者など約200人が来場しました。点灯スイッチが押され、ライトに明かりが灯ると、集まった多くの人々から歓声があがりました。

この夜桜ライトアップは3月30日(土)から4月7日(日)まで実施され、訪れた多くの方は、桜のライトアップの他、ステージイベントや大垣養老高校の生徒が制作した時計台イルミネーションなども楽しみました。



敦士さんや来賓の方々により点灯スイッチが押されました

## 観光の幕開けを飾る「若水取り」

3月21日(木・祝)、春の訪れを告げる「若水取り」が養老神社境内の菊水泉で行われ、来賓や報道関係者など約100人が参加しました。

来賓らの玉串奉納に続き、孝子源丞内役に扮した無藤恭加さん(祖父江)と橋口舞さん(直江)が菊水泉の湧き水をひょうたんに汲み取り、養老神社と養老寺に献水。春の観光シーズン中の安全を祈願しました。

また、22日には、町観光協会により、奈良県の元正天皇陵にも献水されました。



菊水泉の湧き水を汲む橋口舞さん(左)と無藤恭加さん(右)

## 薩摩義士に感謝を込めて

4月10日(水)、薩摩義士春季慰霊祭(町薩摩義士顕彰会主催)が池辺公民館で行われ、関係者や池辺小学校の児童らが参列しました。

慰霊祭では、関係者から命をかけて治水工事を遂行した薩摩義士に感謝と哀悼のことが述べられ、その後、薩摩義士の偉業を称えて、参列者全員による「ああ 宝暦薩摩義士の歌」の奉唱、池辺小学校6年生と養老薩摩義士踊り保存会のメンバーによる「薩摩義士の唄」の踊りの奉納が行われました。



「薩摩義士の唄」の踊り 奉納の様子